

令和8年下半期 死亡・重篤災害ゼロを目指して!

安全 スローガン

こ

も

ろ

さ

く

小諸・佐久 多様な人材 皆で築こう
災害の無い安全・安心に働ける街

小諸労働基準監督署管内(小諸市、佐久市、北佐久郡、南佐久郡)では、転倒災害を中心に、休業4日以上労働災害が増加傾向にあり、令和7年は315人に達し、30年ぶりに年間300人を超えてしまいました。

さらに、令和8年は、業務中の死亡災害が多発し、6人の尊い命が失われており、現在、「**死亡災害特別警報**」を発令中です。

この危機的な状況を踏まえ、令和8年下半期で小諸市、佐久市、北佐久郡、南佐久郡からの労働災害撲滅を目指して、安全スローガンを定めました。

こ

この作業、危険がないかとまず確認

作業開始前に一歩立ち止まって、**リスクアセスメント**を通じて、作業に潜む労働災害につながる危険性、有害性を洗い出し、より安全に作業できる方法はないか検討し、実行しましょう。

も

油断も隙も 災害の元

「ちょっとだけだから大丈夫」という**油断**が、労働災害につながります。短時間の作業であっても、基本的な安全対策を徹底しましょう。

ろ

労働災害ゼロへ 地域で団結

「うちの会社で起きたわけじゃないから」と他人事にせず、日頃の作業方法、作業環境を見つめなおしてください。



さ

最後まで 焦らず急がず 安全作業

機械トラブルが発生したとき等に、普段は行わない作業(非定常作業)を焦って行くと、労働災害のリスクが高まります。急ぐ気持ちを抑えて、安全な作業方法を再確認してから作業しましょう。

く

工夫して 危険をなくす 職場の目

1人ひとりが安全に対する意識を高め、周りで不安全な作業方法を見かけたときには、忘れず注意し、業務中に労働災害につながる「ヒヤッ」とした経験をした場合には、職場で共有し、作業方法や作業内容の改善につなげましょう。



自主的な安全衛生活動の取組みをすすめましょう

安全な作業の定着には、全ての労働者が災害防止活動に自ら取り組み、危険に対する認識、安全意識を高めるための継続した取組が重要です。

1 ヒヤリ・ハット活動

作業中にヒヤリやハットしたが幸い災害にならなかった事象を報告し、職場で原因追求し、未然に災害防止対策を講じる活動です。



▲詳しくはコチラ

2 危険予知（KY）活動

作業開始前に現場や作業内容に潜む危険要因と発生するかもしれない災害について話し合い、作業者の危険に対する意識を高める活動です。作業状況を描いたイラストシートなどを用いて行う方法も有効です。



▲詳しくはコチラ

3 リスクアセスメント

リスクアセスメントとは、各作業に伴う危険・有害性を洗い出し、リスク（負傷・疾病の重篤度と発生可能性等を組み合わせたもの）を評価するもので、評価の結果、リスクの大きいものから優先して対策を講じ、リスクを小さくすることで确实・効果的に災害防止につなげていく取組です。

《基本的な手順》

手順1 危険性又は有害性の特定

手順2 危険性又は有害性ごとのリスクの見積もり

手順3 リスク低減のための優先度の設定・リスク低減措置内容の検討

手順4 リスクの低減措置

		負傷又は疾病の重篤度			
		致命的	重大	中程度	軽度
負傷又は疾病の発生可能性の度合	極めて高い	5	4	4	3
	比較的高い	5	4	3	2
	可能性あり	4	3	2	1
	ほとんどない	4	3	1	1

		優先度
5~4	高	直ちにリスク低減措置を講ずる必要措置を講ずるまで作業停止 十分な経営資源を投入する必要
3~2	中	速やかにリスク低減措置を講ずる必要措置を講ずるまで作業停止が望ましい 優先的に経営資源投入
1	低	必要に応じてリスク低減措置を実施

PDCAサイクルを回し、継続して行うことが重要です！！



▲詳しくはコチラ

